

<第5期ステージプラン 名称(案)>

(案1-1) けいはんな「未来の都市共創プラン」

(案1-2) けいはんな「みらいの都市共創プラン」

【理由】

(1)「けいはんな」について

- ①学研都市の認知度向上の課題を踏まえ、プランの頭に通称を付し、地域の主張を強くすること。  
また、どの地区の計画かわかりやすくすること。
- ②「けいはんな」という語を広く認知させること。

(2)「未来(みらい)の都市共創プラン」について

- ①プラン中で使用する平易なことばを用いることで、覚えやすさや親しみやすさを表すこと。案1-2の「みらい」のひらがな表記は同様の趣旨。
- ②これまでの歴史を踏まえ、40年間に集積した「人(住民)、企業、大学、研究施設」等の多様な主体がいること、それらの主体がこの先も共同して創り上げる都市である旨を表すこと。

(案2)「第5期ステージプラン～共に創るネットワーク」

【理由】

けいはんな宣言や共創会議提言でもキーワードとなっている「共創」をサブタイトルとして用いる。共創の概念にはけいはんなに係るすべての人が共に創るという意味合いを含める。

(案3)「第5期ステージプラン～ポスト万博シティけいはんな～」

【理由】

「第5期ステージプラン～〇〇〇〇～」を推奨。  
サブタイトルは、次期ステージプランで今後推進していく「ポスト万博シティ」が相応しいと考える。

(案4)「第5期ステージプラン～新たな文化創造都市～」

(案5)「第5期ステージプラン～未来へ貢献する実装都市～」

**【提案理由】**

素案において、「本ステージプラン策定の目的」には、“新機軸”、“実証都市としての強み等をさらに発展”、“社会実装化”、“都市の建設を主とするステージから活用まで拡大”と記載され、「第5期ステージプランのビジョン」には、“世界の未来への貢献”、“知と文化の融合による新たな文化創造”と謳っている。これらの想いを込めた名称として上記を提案する。